

会期中随時閲覧可能プログラム

一般演題／ポスター(示説)

会期中随時

186 前

ポスターセッション：5月27日(土) 15:30～16:00

司会：木村美也子(聖マリアンナ医科大学)

P-1 看護学生が体験した受け持ち患者とのコミュニケーション場面における困難感
—新型コロナウイルス感染状況下での看護学実習—

○石井俊行(兵庫大学)

P-2 地域住民における自殺念慮有症率と人口学的属性との関連
—自殺死亡率が高い地域を対象にした横断研究—

○宮本翔平(秋田大学自殺予防総合研究センター)・塚田祐介(ハワイ大学大学院)

P-3 地域住民のアドバンス・ケア・プランニングの現状と課題
—ACPの実態調査や介入プログラムに関する文献検討を通して—

○射場典子(聖路加国際大学)

プログラム第1日目：5月27日(土)

大会長講演

12:30-13:15

会場1：講堂

司会：海老田大五朗（新潟青陵大学）

講演 現象学的研究におけるフィールドワークの醍醐味

○西村ユミ（東京都立大学）

一般演題／口演

13:30～15:30

会場2：186

●セッション1 病院における実践

司会：浦野茂（三重県立看護大学）

1-1 看護部長となる「私」の経験と管理の方針の語り

—地域包括ケア時代の急性期病院のフィールドワークより (1) —

○西村ユミ（東京都立大学）・前田泰樹（立教大学）

1-2 外来での入院説明における確認項目の質問のデザイン

—地域包括ケア時代の急性期病院のフィールドワークより (2) —

○前田泰樹（立教大学）・西村ユミ（東京都立大学）

1-3 救命救急センターにおける看護実践

—患者の入院に注目して—

○伊田裕美（帝京平成大学）

1-4 「その医局らしさ」を可能にする実践

—精神科ケースカンファレンスにおけるリフレクティング・プロセス—

○河村裕樹（一橋大学）

1-5 精神科病院の長期入院および脱施設化の動向に関する考察

—東京都多摩地域の医療者を対象としたインタビュー調査から—

○榎原克哉（東京通信大学）・若林真衣子（東京通信大学）

一般演題／口演	13:30～15:30	会場3:182
---------	-------------	---------

●セッション2 健康と衣食住

司会：孫大輔（鳥取大学）

2-1 オルトレキシアを流行らせたい
—食と健康の社会学の視点から—

○美馬達哉（立命館大学）

2-2 日本における葉酸の摂取と妊娠に関する歴史
—食と健康の社会学の視点から—

○笹谷絵里（花園大学）

2-3 エスニック・マイノリティの高齢化による影響
—第二世代が作る介護食を事例として—

○伊藤尚子（京都府立医科大学）

2-4 機能と能力
—Boorse と Nordenfelt の健康概念を再考する—

○柏崎郁子（東京女子医科大学）

2-5 居住空間における「居場所」とは何か
—住まいのライフヒストリーを手がかりにして—

○金井聡（一橋大学大学院）

一般演題／口演	13:30～15:30	会場4:183
---------	-------------	---------

●セッション3 ケアの経験と実践

司会：池口佳子（文京学院大学）

3-1 「病院へ行くほどでもない」と語る人たちの臨床研究参加の現状と課題
—被験者経験の現象学的インタビュー調査から PPI 活性化に向けて—

○北尾良太（京都大学医学部附属病院／東京都立大学）

3-2 意思疎通困難な患者に対するコミュニケーションに関わる実践
—高度急性期病棟の看護師に焦点を当てて—

○池谷唯（東京都立大学）

3-3 助産ケアを支える助産師の関心

—「うまくいかなかった」経験から考える—

○大和田裕美（静岡県立大学）

3-4 ケア現場の身体的表現活動における「共犯性」が育てる相互行為

—芸術家（ダンスアーティスト）のインタビューから—

○山田カオル（山形県立保健医療大学）・佐々木加奈子（東京大学・JSPS 特別研究員）

3-5 近畿高等学校ソフトテニス選手権大会における、
ボランティアによる熱中症対策の試み

○飯塚明寿（徳島文理大学）・片桐邦彦（徳島文理大学）

・小野秀文（りんくう総合医療センター）

一般演題／口演	13:30～15:30	会場6：282
---------	-------------	---------

●セッション4 専門職研究

司会：中川輝彦（熊本大学）

4-1 日本の看護学は高齢者とその家族をどうまなざしてきたのか

—計量テキスト分析を用いた論文タイトルの批判的言説分析の試み—

○山村岳央（上智大学）

4-2 大学生の医療・福祉関連専門職へのイメージ

—職業威信スコアにみるジェンダー構造—

○池田岳大（立教大学）

4-3 外国人介護留学生の首尾一貫感覚と精神的健康に関する研究

○平野裕子（長崎大学）・大野俊（清泉女子大学）・比留間洋一（静岡大学）

4-4 特別支援学校における子どもと教員の関係性の変化について

—学校社会で共有できるフィールドの構築のために—

○鈴木哉（神奈川県立座間支援学校）

4-5 児童家庭支援センターの専門性の構造的理解

—数量化3類とクラスター分析を用いた検討—

○堀口康太（白百合女子大学）

●セッション5 制度と社会意識

司会：白瀬由美香（一橋大学）

5-1 青年期の学生は出生前診断をどのように考えるのか

○竹重幸（京都大学大学院）

5-2 保健・医療・福祉・教育の連携による防災教育の構築

—子どもに対する暴力被害の防止に向けて—

○浦野慶子（帝京大学）

5-3 子どもの死に関する文献的検討

—死の概念と子どもの年齢・発達に着目して—

○綾部朱莉（埼玉県立大学）・佃志津子（埼玉県立大学）

5-4 国家、ハンセン病、キリスト教

—賀川豊彦と岩下壮一の比較をとおして—

○松岡秀明（東京大学）

5-5 オーストラリア各州における自発的幫助自死法の成立とその分析

○南貴子（香川県立保健医療大学）

5-6 精神障害者のトランスナショナルな社会運動

—ウガンダとデンマークの組織に注目して—

○伊東香純（日本学術振興会／中央大学）

シンポジウム 実践の場をひらく—研究の可能性の再発見—

司会： 坂井志織（淑徳大学）

前田泰樹（立教大学）

S-1 複合災害後もなお続く生活から学ぶ

—福島県相馬・南相馬地区で被災後に糖尿病が悪化した人の経験を通じて—

○細野知子（日本赤十字看護大学）

S-2 ヘルス・エスノグラフィにおける資料蒐集

—コロナ禍における調査の機会の空白が意味すること—

○道信良子（福井県立大学）

S-3 研究のハイブリッド性をいかにめざすか

—救急医療のフィールドを事例として—

○池谷のぞみ（慶應義塾大学）

一般演題／口演

9:30～11:30

会場2：186

●セッション6 COVID-19の保健医療社会学

司会：美馬達哉（立命館大学）

6-1 COVID-19がもたらした‘医療的ケア児’とその家族への影響

—感染拡大初期の日常生活における負担の変化—

○友松郁子（大阪大学大学院）・山本ベバリーアン（大阪大学大学院）

6-2 新型コロナ感染症蔓延下において経済活動の停滞の回避に配慮した

保育園の実践事例 —感染予防と経済活動維持の両立への実践—

○赤木佳寿子（一橋大学大学院）

6-3 新型コロナウイルス感染症流行時における看護師のQOLを規定する要因

○荒牧晃一（長崎大学）・平野裕子（長崎大学）

6-4 パンデミック下の「宿泊療養」の役割の変容

—「新型コロナウイルス感染症の語り」から—

○佐藤（佐久間）りか¹・澤田明子^{1,2}・豊本莉恵^{1,3}・原田雅義^{1,4}

（NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン¹・

麗澤大学²・京都大学大学院³・四條畷学園大学⁴）

6-5 COVID-19禍の地域包括ケアシステムの変容と意義

○佐藤沙織（尾道市立大学）

一般演題／口演

9:30～11:30

会場3：182

●セッション7 がんの保健医療社会学

司会：門林道子（日本女子大学）

7-1 がんの経験を「社会」に継承することの困難と可能性

○菅森朝子（立教大学）

7-2 肺がん患者らは臨床試験にいかに参画したか

—「患者提案型医師主導治験」がもたらしたもの—

○齋藤公子（立教大学）

7-3 がん経験者の養子縁組・里親制度による親子形成について

—当事者・支援者インタビュー調査より—

○白井千晶（静岡大学）

7-4 がん患者の語りづらさに関する実践研究

—写真コラージュ制作を通じた「私の回復」—

○佐々木加奈子（東京大学・JSPS 特別研究員）・山田カオル（山形県立保健医療大学）

7-5 高等学校におけるがん教育実施上の課題とニーズ

○佃志津子（埼玉県立大学）

一般演題／口演	9:30～11:30	会場4:183
---------	------------	---------

●セッション8 保健医療のEMCA研究

司会：河村裕樹（一橋大学）

8-1 テストケースを作る

—科学技術研究所で働く発達障害者はどのように実験へ貢献しているか—

○海老田大五朗（新潟青陵大学）

8-2 患部として可視化する

—訪問鍼灸における所見の実践の会話分析—

○坂井愛理（東京大学）

8-3 医療シミュレーションのなかで依頼すること

—受け手の行為を決定する権利と従う義務—

○黒嶋智美（玉川大学）・川島理恵（京都産業大学）

8-4 医療通訳の聞き返し方略と修復の組織

○森田直美（東京大学大学院）

8-5 通訳を介した医療コミュニケーションにおける通訳者の聞き手性の考察

—患者発話の会話分析—

○飯田奈美子（立命館大学）

●セッション9 病いとケアの経験

司会：石田絵美子（兵庫医科大学）

9-1 外傷により頸髄を損傷した人が車椅子移乗を「大騒動」と語ることの意味

○村上優子（東京都立大学）

9-2 脳血管疾患によって「言語障害」が生じた患者の病いの経験

○細野つばめ（東京都立大学）

9-3 救命救急センターに勤務する看護師の自殺未遂患者との関わりの経験

○大角契人（東京都立大学）

9-4 血友病周辺女性の経験を捉えるということ

—当事者へのインタビューでの経験の語られ方—

○伊藤美樹子（滋賀医科大学）・田淵紗也香（滋賀医科大学）

・木村美也子（聖マリアンナ医科大学）

9-5 血友病患者家族として成長した女性における自身の出産と子育て

—異なる世代の語りから—

○木村美也子（聖マリアンナ医科大学）・田淵紗也香（滋賀医科大学）

・伊藤美樹子（滋賀医科大学）

9-6 ナルコレプシーをいかにして経験するのか

○澤田雅斗（一橋大学大学院）

RTD 1	9:30~11:30	会場7:283
-------	------------	---------

R-1 患者・当事者参画研究の可能性

—ピアサポート研究から見えてくるもの—

企画者： 細田満和子（星槎大学）

話題提供者： 葉山靖明（NPO 法人学びあい）

水口迅（NPO 法人みんなのポラリス）

宿野部武志（一般社団法人ピーペック）

小林幸治（目白大学・作業療法士）

杉原正子（まさこ心のクリニック自由が丘・精神科医）

看護・ケア研究部会総会	11:30~12:00	会場10:384
-------------	-------------	----------

総会・授賞式	12:00~12:50	会場2:186
--------	-------------	---------

WG 主催シンポジウム	13:15~15:15	会場2:186
-------------	-------------	---------

W-1 医学教育においてなぜ社会学を学ぶ必要があるのか

企画者： 医学教育と社会学教育 WG

話題提供者： 錦織宏（名古屋大学）

井口真紀子（祐ホームクリニック・上智大学）

鷹田佳典（日本赤十字看護大学）

討論者： 種田博之（産業医科大学）

孫大輔（鳥取大学）

司会者： 種田博之（産業医科大学）

本郷正武（桃山学院大学）

RTD 2	13:15～15:15	会場3:182
-------	-------------	---------

R-2 障害児を対象とした家庭や課外の学習支援を通じて見えてきたもの

企画者：柴田邦臣（津田塾大学）
 話題提供者：江頭早紀（津田塾大学）
 貝原千馨枝（津田塾大学）
 松崎良美（東洋大学）

RTD 3	13:15～15:15	会場4:183
-------	-------------	---------

R-3 緩和ケア病棟の共支援的変容；ナラティブなスーパービジョンを通して、共支援的に変容する緩和ケア病棟の支援スタイルと文化

—多方面にわたる「対話」展開で患者と家族、緩和ケア病棟を「緩和」すること—

企画者：田代順（ナラティブアプローチ研究室）
 話題提供者：西澤有喜子（NPO 法人 碧き水の里）

RTD 4	15:30～17:30	会場3:182
-------	-------------	---------

R-4 医療・福祉の場における「熟議アプローチ」の理論と実践

—対人支援の現場に活かすためには—

企画者：畠山洋輔（東邦大学）
 話題提供者：牛山美穂（大妻女子大学）
 松繁卓哉（国立保健医療科学院）
 本林響子（お茶の水女子大学）
 吉田澄恵（東京医療保健大学）
 指定討論者：孫大輔（鳥取大学）

RTD 5	15:30～17:30	会場4:183
-------	-------------	---------

R-5 グローバル化時代の看護・介護人材の国際移動
 ー一定住と還流ー

企画者：平野裕子（長崎大学）
 話題提供者：大野俊（清泉女子大学）
 比留間洋一（静岡大学）
 米野みちよ（静岡県立大学）

RTD 6	15:30～17:30	会場6:282
-------	-------------	---------

R-6 人工妊娠中絶をめぐる社会運動と法制度

ー日・独・英・アイルランドの女性の中絶経験の表現と社会運動ー

企画者：白井千晶（静岡大学）
 話題提供者：佐野敦子（立教大学）
 二階堂 祐子（国立民族学博物館）
 白井千晶（静岡大学）
 菅野摂子（埼玉大学）

RTD 7	15:30～17:30	会場7:283
-------	-------------	---------

R-7 ビデオ映像を利用した<常識的当たり前<非常識的基盤>の発見

ー医療通訳、アトピー性皮膚炎、家族介護者ー

企画者：樫田美雄（神戸市看護大学）
 話題提供者：飯田奈美子（立命館大学）
 加戸友佳子（神戸大学）
 松浦智恵美（立命館大学）